

「ビジネスの種を見つける」～南部経済回廊バス移動より

経営支援課 浅野佐和子

2015年4月、カンボジア国内でメコン川下流をまたぐネアックルン橋が開通しました。ネアックルン橋はバンコク（タイ）～プノンペン（カンボジア）～ホーチミン（ベトナム）を結ぶアセアンにおける物流の大動脈である南部経済回廊の一部を構成しており、この橋の完成によりアセアンの物流が飛躍的に改善することが期待されています。このニュースを聞きながら、南部経済回廊で目にした光景に思いを馳せました。



完成間近のネアックルン橋

昨年10月、私は国際機関日本アセアンセンターが主催した

「自治体等職員のためのアセアン投資研修」に参加し、フィリピン、ベトナム、カンボジアを訪問しました。その中で、南部経済回廊をバスで走る機会に恵まれました。プノンペン（カンボジア）からホーチミン（ベトナム）まで約250kmを7時間余りかけて。当時はネアックルン橋がまだ完成しておらず、メコン川を渡るにはフェリーを利用するしかありません。このフェリーに乗るのがひと苦勞なのです。1時間待ち、2時間待ちは当たり前、帰省ラッシュには4、5時間、時にはそれ以上も待つそうです。

フェリー乗り場に車がやってくると、果物やスナック、飲み物売る人たちがわっと車を取り囲みます。50代か60代くらいでしょうか、一人の女性がバナナのてんぷらを揚げていました。バナナを細い棒でパンパンパンと叩いて平たくし、さっと衣をつけてひと抱えもあるような大きな鍋で揚げます。額に汗して、時々4、5才位の女の子を寝かせたハンモックをゆらしながら。バナナのてんぷらは数個ずつビニール袋に入れられ、別の女性が売りに歩きます。車でフェリーの順番を待つ人達は待ちくたびれ、お腹も空いてきます。バナナのてんぷらは飛ぶように売られていました。



メコン川のフェリー



メコン川のフェリー乗り場



バナナのてんぷら売る女性

もうひとつ印象に残ったのは、道路沿い建てられた日本の農機メーカーの大きな看板でした。プノンペン市内のオレンジ色の屋根とクリーム色の壁のカラフルな街並みに比べ、街道沿いの風景はモノトーン。多くの人々が貧困と背中合わせに生



南部経済回廊

活していることを感じました。このような地域で農業機械が買える人がどれだけいるのでしょうか。実際、農業機械など1台も目にしませんでした。国境をまたいで走る幹線道路ですから、この看板は、地元の人々よりもむしろ通行車両に乗っている人々に向けたメッセージなのかもしれません。一人当たり GDP が3,000 米ドルを超えると農業機械の普及にはずみがつくと言われていています。タイでこそ一人当たり GDP は5,000 米ドルを超えていますが、ベトナムは1,910 米ドル、カンボジアは1,006 米ドルとその水準には至っていません(注)。それでも、この看板は、将来この地域が農業機械市場として成長することを予見している人々がいるということを示しています。通行者や地域の人々にまず「農機なら〇〇〇」と記憶してもらい、他社に先んじて市場シェアを獲得していくことを狙っているわけです。

翻って、海外取引支援業務の中でこんな相談を受けたことがあります。「普段は日本国内の卸業者から仕入れている某商品(海外原産品)が品薄になり、仕入れが難しくなった。その商品を輸入して販売したい。輸入は初めてなのでサポート



南部経済回廊に建てられた農機メーカーの看板

してもらえないだろうか。」相談企業は主体的に熱心に取り組み、財団も貿易投資アドバイザーを中心に貿易実務をサポートしました。その結果、無事商品を輸入することができました。後日訪問したところ、「商品は順調に売れています。入手しづらくなった商品を手に入れることができお客様にも大変喜ばれています。」と担当者は顔をほころばせていました。

カンボジアでバナナの天ぷらを揚げていた女性にも、南部経済回廊沿いに大きな看板を立てた農機メーカーにも、この相談企業にも共通して光っているのは、「ビジネスの種を見つけるセンス」だと思います。すぐに実を結ぶ種もあれば、農業機械の例のように育てるのに時間のかかる種もあるでしょう。ほかの人は見落としてしまうかもしれないし、見つけても気にも留めない小さな種かもしれません。その種にビジネスとしての可能性を見出すこと、そのセンス—私は大きな感銘を受けました。ここにビジネスの秘密が隠されているような気がします。

ネアックルン橋が完成して、今はもうフェリー待ちの車の列は消えてしまったかもしれません。けれども、バナナの天ぷらを売っていた女性はきっとどこかで逞しく生きていることでしょう。しなやかにしたたかに新しい商売の種を見つけながら。

(注) 一人当たり GDP のデータは The World Bank の HP を参照 (<http://data.worldbank.org/indicator/NY.GDP.PCAP.CD>)。